

第24回定期大会開催

台風接近のなか予定通りに大会を開催

7月10日、名古屋市金山アビタンにおいて、第24回定期大会を開催しました。当日は、台風8号の接近で交通機関の乱れもあり心配されましたが、予定通りに開催されました。あらためて大会成功にむけた組合員の皆さんの努力に感謝します。

丹羽副委員長の開会挨拶により大会が開催されました。議長には中津川分会の水野代議員を選出しました。

将来を見据え取り組みを進めよう

山田委員長は、あいさつのなかで、「ボーナスカット中労委の闘い、三重地労委の闘い、平和の闘い、そして、名古屋地本の将来をみすえ、各組合員が一步まえに出よう」と力強い提起がなされました。

本部から木下、高原両副委員長はじめ、細川JR貨物労組東海地本委員長、新幹線地本杉沢書記長、静岡地本山本委員長、新幹線関西地本王丸、島津執行委員、地本OB会伊藤副会長、東濃リニアを考える会原代表、鉄道ファミリーより加藤誠二さん、楠さんら多数の来賓から連帯の挨拶を受けました。

全ての代議員から発言をうける

昼の休会をはさんで、執行部より闘いの総括と、向こう一年間の方針が提起され、それに対して質疑がおこなわれました。

代議員全員から職場での闘いの報告がされました。

協約改訂にむけ全組合員一丸で闘おう

代議員の発言を受け、執行部側より答弁が行われ、荻野書記長から今後の取り組みの進め方について、総括答弁がされました。

大会方針は満場一致で可決されました。

最後に組唱歌を全組合員で合唱し、山田委員長の団結ガンバローで終了しました。

大会後の懇親会では大いに盛り上がりました。

台風の中、来賓・組合員・OBのみなさん大変お疲れさまでした。

